

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
移乗介護(装着型)	マッスルスーツEvery	(株)イノフィス

導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
70人	特定施設入居者生活介護

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>主に車イスとベット間の移乗や居室での排泄介助等の際に使用し、ご利用者の状態等を見て、移乗を行う職員が少しでも腰への負担がある場面で使用している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○腰部のサポートによる職員の腰痛予防</p> <p>○移乗の安定性の向上による職員の介護事故発生の未然防止及び利用者の移乗に対する不安の解消</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○それほど重くないため、使いやすい。</p> <p>○一人で簡単に装着できるが、ずっと装着していると他の業務ができないため、急な対応が必要な場合は、邪魔になる場合がある。</p> <p>○持ち運びがしにくい。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>使用頻度が高そうな利用者の居室付近に置き、なるべく持ち運ぶ距離を短くし、使用の効率化を図る。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
移乗介護(非装着型)	ロボヘルパーSASUKE	マッスル(株)

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
50人	介護老人福祉施設

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>重度伸展拘縮が見られる方や体格が良く介助者一人では負担が大きいご利用者の車イス・ベッド間の移乗は職員2人以上で介助をおこなっていたが、職員1人で対応できるようになった。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○従来まで、重度の伸展拘縮が見られるご利用者は車イス・ベッド間等の移乗が職員2人以上必要であり、職員2人が対応できるまでお待ちいただいていたが、職員1人で対応できるようになった。ご利用者の待ち時間も少なくなった。</p> <p>○体が大きく重量があるご利用者を抱えることがないので身体的な負担が軽減された。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○体が大きく、重量があるご利用者を抱えることがないため腰への負担が軽減された</p> <p>○真っすぐ臥床した状態でセッティングが難しく、その間にご利用者の体が移動してしまうことがある。</p> <p>○車いすに座った後、ネットを外すためには抱えなければならず、1人につき1回だけの使用になってしまう。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>ご利用者の体格や伸展拘縮などを検討し、職員1人でもスムーズに移乗できるようにする。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
移乗介護(非装着型)	離床アシストロボット リショーネPLUS	パナソニックエイジフリー(株)

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
50人	介護老人福祉施設

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>重度伸展拘縮が見られ車イスへの移乗を職員2人で上下で抱えるように介助していたが、職員1人で臥床の状態から抱えること無く離床できている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>2人介助で移乗していたが、抱きかかえる必要がなく一人の操作で離床することができる。また、抱えることがないため皮膚への負担がなく表皮剥離や内出血も減少し、ご利用者の身体的負担や職員の精神的負担が軽減された。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・操作は簡単であるし、抱きかかえる必要がないので、とても楽である。 ・身体的負担感、精神的負担感共に軽減された。 ・2人介助の必要性がなくなったので、他の利用者様のケアを向上させることができている。
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>次年度以降も拘縮が進行し、ご自分では動くことができず、職員2人で離床介助しているご利用者や表皮剥離や内出血になりやすいご利用者に使用していただき、ご利用者のQOLの向上、傷の予防と介護職員の介護負担の軽減を図る。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
コミュニケーション	PALRO	富士ソフト(株)

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
45人	通所介護

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>○歌が好きなお利用者のリクエストにより、PALROに歌ってもらうことで利用者が口ずさんでいる ○PALROと一緒にご利用者が体操を行い、体を動かさせている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○口数の少ない利用者がPALROの呼びかけに反応し、会話を継続させている。 ○PALROに名前を呼ばれた利用者が嬉しそうな表情をする。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>利用者への会話やレクリエーションによる精神的ケア・癒し効果・体操による介護予防によって利用者の生活の質の向上を図る。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
コミュニケーション	Pepper for Biz	ソフトバンクロボティクス(株)

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
25人	通所介護

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>ご利用者とのレクリエーションで使用している。 また、ご利用者がPepperとコミュニケーションを図るとともに、個別にゲームをしている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>レクリエーションに係る担当職員の準備時間を20分削減することができた。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○レクリエーションを設定した時間分実施できるので、付き添いの職員が2人から1人に減らすことができた。 ○日常会話のレパートリーが少ないが、ゲームなどが充実しておりご利用者と一緒に楽しくことができている。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>利用者が自発的にゲームなどの機能を活用できるよう、操作方法を案内し、搭載されている体操や歌、ダンスを活用したアクティビティの導入を検討していく。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
入浴支援	バスリフト	TOTO(株)

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
70人	特定施設入居者生活介護

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>個別浴槽に機器を設置し、下肢筋力の低下した利用者等の入浴の際に使用している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○利用者を抱え上げる等の行為がないため、力のない職員等も入浴介助業務が可能。 ○入浴介助人員配置を少なくすることができ、他業務への人員配置が可能となった。 ○利用者を安全・安心に入浴させることができる。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>利用者の状態等を確認し、事故が起こらないように安全に使用するように心がけたうえで入浴介助も省力化を進め、さらなる介護サービスの質の向上を目指す。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
入浴支援	入浴支援装置バスアシスト	(株)ハイレックスコーポレーション

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
20人	地域密着型特定施設入居者生活介護

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>介助を必要とするご利用者の入浴時に機器を設置。無理のない動作で介助の負担軽減や転倒リスクを回避できる。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>リフト入浴により介助時の職員の負担軽減を図ることができ、ご利用者も異常や足上げによる転倒リスクを回避できるため、安心して入浴できるようになった。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>これまで入浴時に2人がかりで抱えての介助が必要であったが、導入後は1人での介助が可能となり転倒、滑落のリスクも軽減されるようになった。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>介護ロボット導入に伴い職員研修等を実施し、機器操作に習熟できるような環境を整備していく。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
入浴支援	リフト付きシャワーキャリー (LS-310、LS-500)	(株)いうら

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
35人	通所介護

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>○今までは大浴槽までシャワーキャリーにてスロープから出入りし、浴槽内ではシャワーキャリーから介護職員がご利用者を支えて移乗介助していたが、立位保持が困難な方や立位保持が困難かつ体格の良い方にリフト付きシャワーキャリーを使用している。</p> <p>○入浴者が週平均130人で1日平均22人の内リフト付きシャワーキャリーのご利用者が6人前後で約28%の利用率となっている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○介護職員等の業務負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体格の良い方には、介護職員2人でシャワーキャリーを押して浴槽から出る介助をしていましたが、導入により介護職員1人で入浴介助が可能となった。また、腰痛予防にもつながった。 ・1人あたりの入浴介助に要する時間が短縮でき、入浴介助の終了時間が30分前後早めることができ、他の業務にあてることができている。 <p>○ご利用者14人中10人の方が、安心して入浴できるようになったと言われています。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○入浴時間の効率化が図られることにより、入浴介助をしていた時間を他の業務に振り替えることで業務全体の効率がよくなった。</p> <p>○腰痛が楽になった。</p> <p>○リフト付きシャワーキャリーの重さに、ご利用者の体重が加わるとさらに重くなり、少しの段差でも押すのが大変になってしまう。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>リフト付きシャワーキャリー入浴の対象となる方の状態等のデータを収集・分析を継続し、使用マニュアルを作成することによりご利用者の状態に合わせた入浴支援等介護サービスの質の向上を図る。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
排泄支援	ベッドサイド水洗トイレ	TOTO

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
40人	訪問介護

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>利用者のベッドサイドに水洗トイレを設置している。訪問介護利用者がトイレを行う時、1日の内複数回使用している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>設置を行った部屋には、トイレの設備が無かったため、トイレを使用したい場合は、同じ階にある共同トイレに利用者自ら行くか、介護サービスを利用して介護職員が共同トイレに利用者連れで行きトイレ介助を行う。もしくは居室にポータブルトイレを設置して介護職員が居室にてトイレ介助を行い汚物処理を行う必要があった。設置後は利用者が排泄を自ら行う事が可能となったため、従業者の介護負担が減った。利用者を共同トイレに付き添い介助を行う時間が減った。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○ポータブルトイレの汚物処理をする必要性が無くなり、処理に関する介護業務の負担が大幅に減った。 ○利用者を共同トイレへ付き添い介助を行う必要性が無くなった為、その時間を他の介護業務に振り替えることが可能になった。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>将来的に利用者の介護度が上がった場合にベッドサイド水洗トイレの使用に向かない身体状態に向かうことも予想される。ベッドサイド水洗トイレを実際に使用することにより、そのような身体状態に向かうことを防ぐ、もしくは遅らせることを期待するとともに、ベッドサイド水洗トイレを使用を想定した機能訓練を行い、この機器を使用できる身体状況を保つよう努力する。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	テルサコール	(株)モルテン

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
50人	介護老人福祉施設

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>ベッドに臥床した時にスイッチを入れている。 ○移動は、杖歩行を職員が付き添いしている方で就寝後、杖を使用せず歩行しようとし転倒するリスクが高いため、就寝時に使用。 ○移動は、歩行器を使用し、見守り移動している方で就寝後、歩行器を使用せず歩行しようとし、転倒するリスクが高いため、就寝時に使用。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>転倒、転落により事故防止やセンサーが反応する時間帯から夜間排尿のタイミングなど把握に効果が得られた。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>今回のテルサコールは、ベッドサイドに体重がかかるとセンサーが感知する仕組みとなっており、ベッドから降りるタイミングで反応する。寝がえりの時に反応しないか心配はしたがその様な事例は無かった。今回の対象者では無かったが、体重の軽い方で試行した時、センサーの反応が若干鈍い方もあった。特に良い点は、マットレスにセンサーが内蔵されているので、床にセンサーマットを敷くタイプとは違い、足元がすっきりとしてマットにつまずくリスクやセンサーの断線がない、床の掃除がしやすいなどの意見が多かった。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>今回、テルサコールを導入し、見守りセンサーは8台となったが、新規入所者や短期入所者利用時にセンサーが不足する時もある。テルサコール以外の4台のセンサーマットの更新時期及び通常マットレスからセンサー内蔵型体圧分散マットレスへ移行していくことで、利用者への褥瘡予防対策や事故防止対策を効果的に行えるよう導入を計画していきたい。 また、以上に加えて、介護ロボットの全般的な使用計画として日々の介護記録関係、情報の共有では、紙ベースな部分が多いので、効果的にICTを活用し、令和3年度の介護報酬改定に対応していきたい。</p>